



# **第1部**

---

# **基本的構想**

# 第1章

---

## 村づくりの背景

第4節●人口

第3節●社会変化と生活環境

第2節●社会経済の変化

第1節●自然・地理的条件

# とよおかイラストマップ



## 第1節 自然・地理的条件

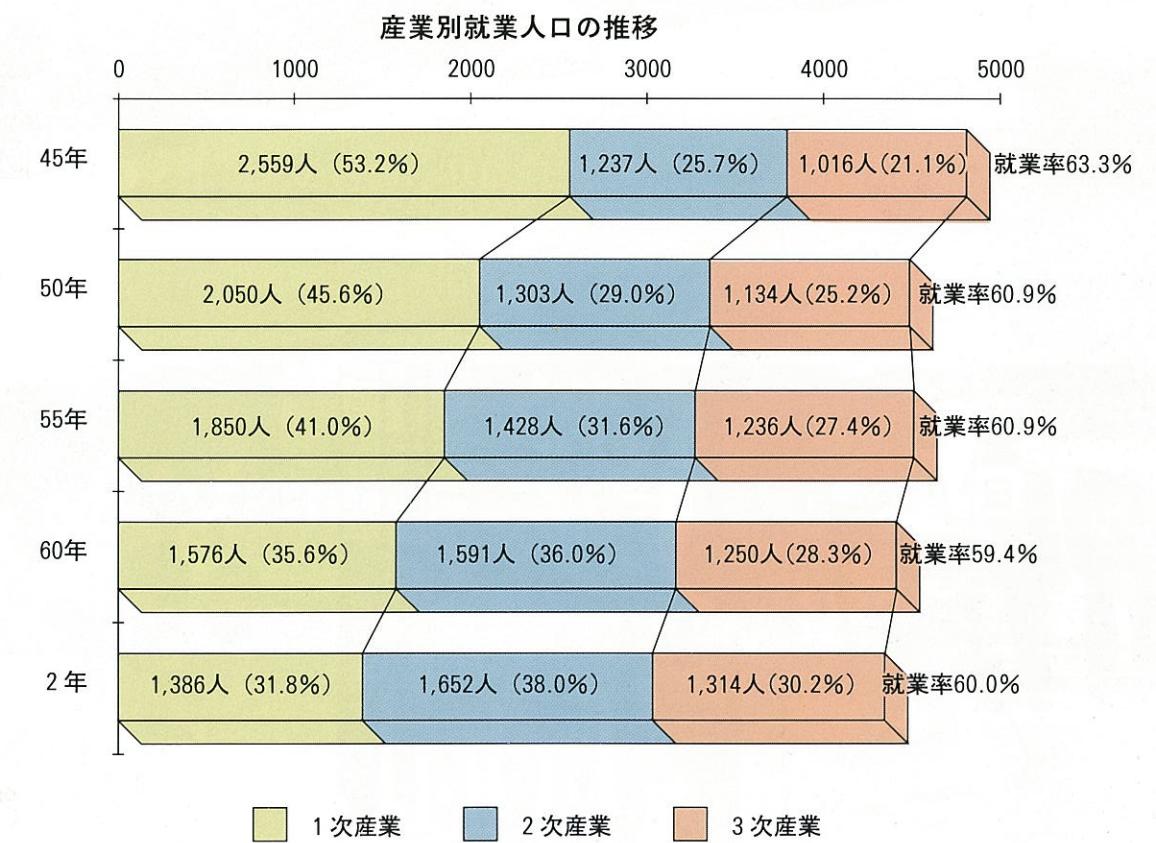
- 1 本村は、下伊那郡の北部、天竜川の東側に位置し、伊那山脈から天竜川にかけて美しい河岸段丘を形成しており、天竜川沿岸地帯、河岸段丘地帯、中山間地帯及び森林地帯に大別されます。河川は、伊那山脈より源を発して7河川が段丘を横断し渓谷をつくり天竜川に注いでいます。
- 2 総面積は76.85km<sup>2</sup>で、東西10.5km、南北7.5kmの地形は山林がほぼ80%を占め、集落は天竜川沿岸地帯と河岸段丘地帯に集中しています。





## 第2節 社会経済の変化

- 1 人口や経済機能などの東京一極集中傾向が続き、多極分散型の国土形成が全国的な課題になっています。高速交通網の整備は時間距離の短縮となり、新しい条件のもとで広域的な観点から個性ある地域の形成を図ることが必要となっています。
- 2 農林業は、自然環境の保全等に果たしている役割の重要性が再認識される一方で、後継者不足や農産物の輸入自由化などの環境変化に直面しています。
- 3 産業構造の変化や人口の高齢化が進むなかで、長期にわたる景気の拡大は、若年層を中心に深刻な人手不足をもたらしてきました。
- 4 産業の高度化、サービス化が進展しており、先端技術を取り入れながら付加価値の高い産業集積を進めていく必要があります。また、産業の高度化に対応できる担い手の確保と育成が求められています。
- 5 消費者ニーズの高度化、多様化や、流通構造の変化が進んでいます。人材の育成や経営を近代化し、魅力ある商店街づくりが必要になっています。

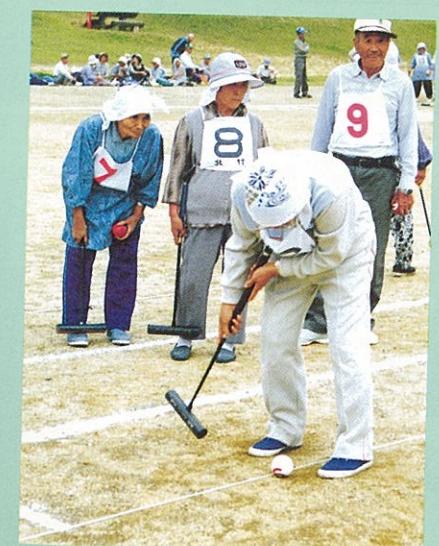


## 第3節 社会変化と生活環境

- 1 豊かな自然に恵まれた本村でも自然、水質、ゴミなど地域環境に対する関心が高まっています。身のまわりの環境と生活のあり方、自然環境の保全と地域開発との調和を図ることが大切です。
- 2 平均寿命の伸長と出生率の低下が一層進むなかで、本格的な長寿社会を迎えていきます。このため、健康づくりや医療の充実、高齢者の社会参加の促進、福祉の充実など長寿社会に対応した体制の整備が求められています。また、出産適齢人口の減少や晩婚傾向などにより出生率が低下しています。村民自らの取組みと、若者による地域づくりを推進するとともに、子どもを健やかに生み育てることのできる環境整備が求められています。
- 3 所得水準の向上や自由時間の増加などを背景に、生活環境を快適にしようとする意識や生涯学習への関心の高まりなど、生活意識の変化が見られます。下水道、生活道路の整備をはじめとする生活基盤の充実や文化活動の充実などの施策が求められています。
- 4 新しい情報基盤の整備が進展するなかで、家庭生活から産業活動にいたるまであらゆる分野で情報化への対応が必要になっています。
- 5 情報技術の飛躍的な進歩により地球上のできごとが瞬時に報道され、また、経済活動も地球的な規模で展開されています。新たな国際化の時代に向けて国際性あふれる人材育成が求められています。



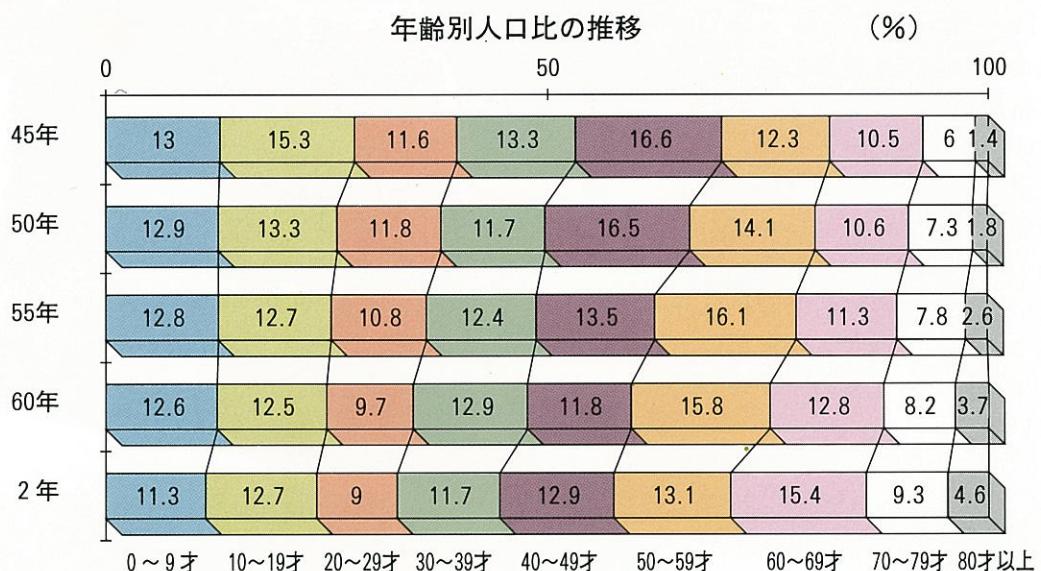
H 5. 4. 1 オープンしたデイサービスセンター『ほほえみ』



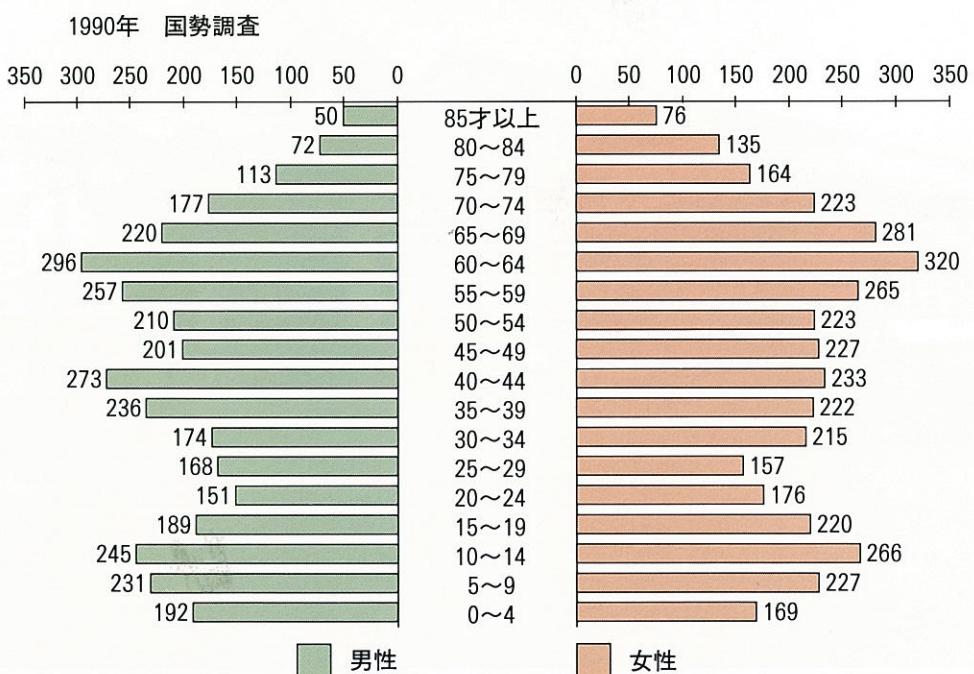
## 第4節 人口

1 国勢調査における本村の人口は、昭和45年から昭和60年調査までは微増傾向にありましたが、平成2年調査において2.6%減少しま

した。今後も出生率の低下等により人口の減少が予想されます。



### 豊丘村の人口構成



## 第2章

# 基本理念

# 基本理念

わたしたちは、昭和60年に制定された豊丘村民憲章の理念をむらづくりの理念として、21世紀を展望したむらづくりを進めます。

## 1 緑と清流を、こよなく愛するむらづくり

●わたしたちの豊丘村は、東に鬼面山を主峰とする伊那山脈をいただき、数多くの清流の恵みを受け、緑深き自然と美しい河岸段丘を形成しています。わたしたちは、この美しい緑と清流をこよなく愛するむらづくりを進めます。

## 2 教育を重んじ、文化のかおり高い平和なむらづくり

●こどもたちを健やかに育て、若者からお年寄りまで豊かさを実感し、いきいきと安心して生活できるように、教育を重んじ、文化のかおり高い平和なむらづくりを進めます。

## 3 産業をおこし、若い力を育て、活力あるむらづくり

●わたしたちの先輩は、英知と努力により産業を進展させ村を発展させてきました。今、わたしたちは先輩たちが培ってきた伝統を受け継ぎ、産業をさらに発展させ、若い力を育て、活力あるむらづくりを進めます。

## 4 思いやの心をもち、希望ある福祉のむらづくり

●高齢化はわたしたちみんなの課題です。心身ともに健康で心豊かな生活と、心のふれあう地域社会をつくるため、思いやりの心をもち、希望ある福祉のむらづくりを進めます。

## 5 あいさつをかわし、明るい家庭をつくり、住みよいむらづくり

●笑顔の絶えない明るい家庭は、人づくりや地域づくりの基本となります。また、人々が積極的に地域活動に参加し、地域づくりができるよう、あいさつをかわし、明るい家庭をつくり、住みよいむらづくりを進めます。

# 第3章 計画の基本方向

## 第4節 ● 施策展開の基本的な考え方

## 第3節 ● 土地利用基本構想

## 第2節 ● 人口構想

## 第1節 ● むらづくりの目標

## 第1節 むらづくりの目標

# 自然と人が共生する うるおいのある村

かけがえのない自然を守りながら、住民が、住みよさを実感し、  
活気と誇りに満ち溢れた生活を営むことができるむらづくり

## 第2節 人口構想

平成14年度（目標年度）における常住人口の目標を8,000人、世帯数2,000世帯とします。

目標を達成するためには、若年人口を中心として、発展性のある人口構成を保つことが必要です。

## 第3節 土地利用基本構想

### 1 土地利用の基本方針

(1) 村土は、現在および将来における限られた資源であり、生活および生産を通じる諸活動の共通の基盤です。したがって、村土の利用に当たっては、長期展望にたって、公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ地域の自然的、文化的、経済的条件を配慮して、健康で文化的な生活環境の確保および均衡ある発展を図ることを基本理念とし、総合的かつ計画的に行わなければなりません。

(2) 本村は、飯田市の北東に位置し、同市との社会的、経済的つながりが深く、今後はこのベットタウン化も含め人口増や事業所の増が見込まれ、土地需要の調整および効果的利用に配意する必要があります。また、恵まれた自然環境を生かしつつ地域振興や住環境の整備を推進するため、環境の保全に配慮しつつ、平坦地の高度利用、遊休土地や森林地帯の有効活用等、土地の適切かつ合理的利用を図る必要があります。

### 2 地域別の利用方針

地域の区分は、地理的条件等を考慮し、河野地域、田村林地域、伴野地域、河岸段丘地域、中山間地域、森林地域の6地域に区分します。

#### (1) 河野地域

当地域は、南北に県道が縦断し、県道沿いの宅地と水田及び果樹地帯からなり、肥沃な水田地帯の集団化による農業振興を図りつつ、工業の発展と人口増が見込まれる地域です。地域全体の土地利用や環境保全に配慮しつつ、工業団地を誘致し、地域全体の活性化を図るとともに、農業基盤整備が充実した優良農地の保全・活用を図りながら、計画的な宅地開発を推進する地域とします。また、農業集落排水事業により地域全体の下水道化を推進し、道路整備とともに住環境の整備を図ります。

#### (2) 田村林地域

当地域は、村の中心部に位置し、村役場をはじめとして公共公的機関が集まり、村の中心的機能を担う地域です。竜東一貫道路の開設、役場庁舎の新築や明神橋のかけ替えに伴い、村の中心部にふさわしい魅力ある商店街づくりを進め商業の振興を図るとともに、公共施設等の整備充実により住民の福祉および産業の発展を図り、竜東一貫道路沿線を中心に住宅需要の増加に対応していく地域とします。また、農業基盤整備が充実した優良農地の保全・活用を図りながら、特定環境保全公共下水道事業により、地域全体の下水道化を推進し、道路整備とともに住環境の整備を図ります。

#### (3) 伴野地域

当地域は、南北に県道が縦断し、県道沿いの住宅と水田地帯からなり、飯田市に最も近く、自然環境や利便性の良さから人口増や事業所の増が見込まれます。また、昭和52年3月に農村工業導入促進法により指定を受けて造成された工場団地があり、当村の工業振興の一翼を担っています。今後の工業用地需要に対応し、用途区分に合った誘導により集積性を高め、当村の雇用の拡大を図り、宅地需要に対してはまとまりある宅地化誘導を行い、産業の振興と生活環境の整備を図る地域とします。また、農業基盤整備が充実した優良農地の保全・活用を図りながら、道路整備とともに

下水道の普及を図ります。

#### (4) 河岸段丘地域

当地域は、全国でも有数の河岸段丘上にあり、本村の農業の主力である果樹地帯です。今後も農産物の高品質化、省力化、農産物加工品の開発を検討し、農業経営の安定を図り、農用地の保全と不耕作地の発生防止に努めるとともに、河岸段丘を生かしたリゾート、レクリエーション地域としての開発および環境保全に配慮しながら開発研究型企業の誘致を促進する地域とします。また、伊那山脈を源流とし天竜川へ注ぐ河川は、美しい渓谷を形成しており、この資源を保全し適正活用を図ります。

生活環境の整備として、農業集落排水事業、特定環境保全公共下水道事業により、道路整備とともに地域内の下水道化を推進します。

#### (5) 中山間地域

当地域は、小部落が点在する山間地ですが、農地造成により、りんご、梅、柿、特産品のコンニャク等の栽培が盛んです。各地区においては、地域住民の運営による松茸観光、りんごの木のオーナー制度など特色ある地域振興が行われています。地域住民の生活と福祉の向上のため、必要な公共施設整備を図るとともに、自然環境と景観に配慮し、開発研究型企業誘致の促進や、森林公園等公益施設を整備する地域とします。また、住環境整備として、道路整備とともに合併処理浄化槽設置を推進します。

#### (6) 森林地域

当地域は、伊那山脈から西へ面した国有林、村有林、民有林が混在する森林地帯で、当村の自然環境を支える基盤であり、村土の保全、水源かん養等のため森林の保護、育成に努めつつ、人と自然のふれあいを目的とした森林公園の開発や、茸の生産等積極的利用を図り、森林、林業の活性化を図ります。

## 第4節 施策展開の基本的な考え方

### ■第3次豊丘村総合振興計画の施策体系■

自然と人が共生するつるおいのある村をめざして

#### 快適な生活の環境づくり

安全で快適な生活環境は、人々にやすらぎと活力を与えます。将来を展望しつつ、保全すべきは保全し、整備すべき部分は着実に整備し村全体の視野に立って生活基盤の整備を行うとともに、住民生活の安全確保を図ります。

- (1) 村土の保全と適切な土地利用
- (2) 生活環境の整備
- (3) 住民生活の安全確保
- (4) 公共交通機関の確保と充実
- (5) 地域情報化の推進

#### ふれあいの福祉みんなの健康づくり

本格的な長寿社会を迎えて、保健、医療、福祉サービスの充実が求められています。長寿社会を村民全体で支えながら、健康で心のかよう、ふれあいの社会福祉づくりを進めます。

- (1) 生きがいのある長寿社会づくり
- (2) 社会福祉の充実
- (3) 健康管理の充実
- (4) 国民健康保険・老人医療対策

#### いきいきとした人づくり

本村の将来は、時代の変化に的確に対応できる村民の英知により築かれます。そこに住む人の顔がいきいきと輝けば、その地域も輝きます。暮らしのなかに創造の喜びがあふれるような、いきいきとした人づくりを進めます。

- (1) 生涯にわたる教育の充実
- (2) 青少年の健全育成
- (3) 同和教育
- (4) 文化とスポーツの振興

#### 力づよい産業づくり

豊かな村民生活は、活力ある地域産業の発展にあります。地域の特性や社会の構造変化に的確な目を向け、農商工の調和を図りつつ、足腰の強い魅力ある産業づくりを進めます。

- (1) 農林業の振興
- (2) 商工業の振興
- (3) 観光の振興

#### 21世紀の村づくりに向けて

社会情勢の変化のなかで、多様な住民ニーズや山積する課題に的確に対応し、将来を展望した村づくりを展開します。

- (1) 広域行政の推進
- (2) 行財政運営の効率化
- (3) コミュニティーの推進

## 第4章

# 施策の大綱

第5節 ● 21世紀の村づくりに向けて

第4節 ● 力づよい産業づくり

第3節 ● いきいきとした人づくり

第2節 ● ふれあいの福祉みんなの健康づくり

第1節 ● 快適な生活の環境づくり

## 第1節 快適な生活の環境づくり

村土は村民生活や産業活動の基盤です。自然環境の保全に十分配慮しつつ将来を展望して村土の基盤整備を進めていく必要があります。

美しい自然のなかで、快適でいきいきとした生活が送れるよう、生活環境の整備と、住民生活の安全確保を図る必要があります。

### (1) 村土の保全と適切な土地利用

- 本村の地形は急峻であり、村民が安心して快適な生活を送るために災害発生の未然防止を図るとともに、安全性の高い村土の整備を進めます。
- 村土は限られた資源であり、公共の福祉を優先して総合的、計画的に利用することが重要です。土地需要の増加や変化に対応し適切な利用を図るための施策を総合的に推進します。
- 長期的な視野に立って、水源かん養機能の強化のための森林整備等水資源の確保を計画的に進めるとともに、その有効利用を図ります。

### (2) 生活環境の整備

- 村発展と村民生活に欠くことのできない道路網の整備を、幹線道路から生活関連道路、農道、林道にいたるまで積極的に進めます。また、高速道路のアクセス道路や国道県道等の整備を促進します。
- 下水道整備を計画的に進めるとともに、廃棄物の適正処理など地域環境の保全に努め、快適な生活づくりを進めます。
- 水環境の保全を図るとともに水資源の有効利用を推進し、下水道整備に併せて水道施設の整備を図ります。

### (3) 住民生活の安全確保

- 増加傾向にある交通事故を防止し、安全で快適な交通社会をつくるため、交通安全運動や交通安全施設の整備など交通安全対策を推進します。
- 広域化、悪質化傾向にある犯罪から村民を守るために、防犯に対する意識の高揚を図り、青少年の非行を防止するとともに、多様化する消費生活上

のトラブルを防止し、安全な暮らしの確保を図ります。

- 火災や災害から村民の生命や財産を守るため、消防組織の整備と強化を図り、消防防災対策を推進します。
- 地震防災意識の高揚を図り、総合防災訓練を実施するとともに、自主防災組織の強化を図ります。

### (4) 公共交通機関の確保と充実

- 公共交通機関の利用を推進し、鉄道、バスの運行の維持と利便性の向上を促進します。

### (5) 地域情報化の推進

- 情報化の進展に対応して、様々な情報を効果的に利用できるよう各種の施策を総合的に推進します。また、有線のCATV化を促進し、有効利用を図ります。



整備の進む竜東一貫道路

## 第2節 ふれあいの福祉みんなの健康づくり

全国よりほぼ10年先行して人口の高齢化が進んでいる長野県のなかで、本村の高齢化率は県平均を上回っており、本格的な長寿社会を迎えてます。また、小家族化、女性の社会進出など家庭を取り巻く環境の変化や、家庭介護者自身の高齢化など、保健、医療、福祉へのニーズは増大し、多様化しています。

このため、子供からお年寄りまでお互いの立場を理解し、健康で生きがいをもって安心して長寿の時代を過ごすことのできる福祉社会づくりに取り組んでいかなければなりません。

### (1) 生きがいのある長寿社会づくり

- 仲間づくりや村づくりをはじめとして、すべての村民がそれぞれの年代に応じて社会に参加し、いきいきと暮らすことのできる長寿社会にふさわしい社会づくりを進めます。

### (2) 社会福祉の充実

- 心のかゆう福祉社会の形成のためには、村民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、思いやりと助け合いの心を育てるとともに、地域全体で福祉を支える体制づくりが重要です。

このため、社会福祉協議会を充実し、地域福祉活動の活発化を図るとともに、ボランティアなど福祉の担い手となる人材の育成を図ります。

- 高齢化の急速な進行とともに、介護を必要とする寝たきり老人や痴ほう性高齢者が増加しています。老人保健福祉計画に基づき、ホームヘルパーの派遣活動やデイ・サービスセンターの有効利用により本村の実情に応じた高齢者福祉を進めます。

- 家庭や児童を取り巻く環境は大きく変化しています。子供を持ちたい人が健やかに子供を生み育てることのできる環境づくりを進めるとともに、児童や母子、父子家庭等の生活安定をめざした福祉の充実を図ります。

- 障害者ができる限り家庭や地域で自立した生活を送ることのできる社会の実現をめざし、保健福祉サービス等の充実を図るとともに、社会参加できる環境整備を進めます。

### (3) 健康管理の充実

- 長寿の時代を生涯にわたり健康で過ごすには村民一人ひとりの「自分の健康は自分でつくる」取り組みが基本となります。

心の健康も含めて、各年代に応じたきめ細かな保健活動を推進し、村民の健康づくりを進めます。

### (4) 国民健康保険・老人医療対策

- 国民健康保険・老人医療の健全な運営を推進します。



老人の生きがい対策

## 第3節 いきいきとした人づくり

時代の大きな変化に的確に対応できる人づくりは、21世紀の村づくりの基本となります。このためには、家庭、学校、地域などそれぞれの場で創造性に富み心豊かな人づくりを積極的に進め、地域文化やスポーツの振興を図るとともに、国際化に対応できる人づくりを進める必要があります。

### (1) 生涯にわたる教育の充実

- 心身ともに健康な成長や個性と能力の伸長を図り、学力の向上と問題行動等への指導に重点をおいて、学校教育の充実を図ります。
- 生活水準の向上や自由時間の増加等により、ゆとりのある生活や心の豊かさへの欲求が高まっています。村民一人ひとりが自分に合った学習活動に親しみ、生きがいを持って充実した人生が送れるよう、社会教育活動を中心に生涯学習の振興を図ります。

### (2) 青少年の健全育成

- 次代を担う青少年が健やかにたくましく育つことは村民すべての願いです。家庭や社会環境が大きく変化しているなかで、創造性と社会性のある

青少年を育成するため、育成活動と健全な社会環境づくりに取り組みます。

### (3) 同和教育

- あらゆる差別をなくすため、村民の理解と協力のもとに、人権の尊重を基本として、差別のない社会づくりを進めます。

### (4) 文化とスポーツの振興

- 心身の健康を増進し、人生を豊かに過ごすため、スポーツに親しむ人が増えています。気軽にスポーツが楽しめる明るい健康な生活と活力ある村づくりのためスポーツの振興を図ります。
- 郷土の歴史を知り、郷土に愛着を持つ心を培う施策を進めます。



村内駅伝大会

## 第4節 力づよい産業づくり

村民生活の向上、村政の発展には、地域経済の発展が不可欠です。

社会経済の変化に的確に対応し、地域の特性を生かし、より高度で力づよい産業の発展をめざしていくかなければなりません。

### (1) 農林業の振興

- 近年、農業が村土の保全や地域環境の維持向上に果たしている役割の重要性は高く評価されていますが、新規就農者の減少や荒廃農地の増加、農産物の輸入自由化など多くの課題に直面しています。

生産技術の向上と先端技術の導入を図り、地域の特性を最大限に生かした高付加価値型の農業の振興を図ります。

森林の多面的な機能の重要性を認識し、長期的視点にたって森林整備計画に基づき森林造成を進めるとともに、担い手の確保に努め、森林の育成と林業の振興を図ります。

### (2) 商工業の振興

- 消費者ニーズの個性化、多様化など商業に対する

環境変化が進んでいます。人材育成や経営の近代化等の面で支援するとともに、魅力ある商店街づくりを進め、商業振興を図ります。

社会経済の変化を踏まえて、先端技術を生かし、成長性の高い産業分野を取り込みながら産業の高度化を進めていく必要があります。

中小企業の経営合理化、人材育成・確保など支援施策を推進し、高度技術を生かした工業の振興を図ります。

### (3) 観光の振興

- 既存の観光事業を育成しながら、自然環境に配慮しつつ個性的な観光事業を開拓します。



## 第5節

# 21世紀の村づくりに向けて

### (1) 広域行政の推進

●日常の経済、生活圏域は広域化しています。社会情勢の変化に柔軟に対応し創造性と多様性に富んだ地域社会を築いていくためには、広域行政の一層の推進と活性化を図る必要があります。

広域組織の近代化と活性化を図り、合理的な行政を推進します。

### (2) 行財政運営の効率化

●複雑化、多様化する行政需要に的確に対応し、

OA化の推進、組織整備、職員研修等を積極的に進め、行政サービスの向上に努めるとともに、健全な財政運営を図ります。

### (3) コミュニティーの推進

●伝統行事等を通して心豊かな生活のできる地域環境づくりを推進します。また、コミュニティーの醸成のための施設整備を進めます。

